

Iwao Furusawa Violin Concert 2020

満員御礼となった前回公演に続き 古澤巖が横浜に登場!

ジャンルを超越した、音楽の求道者

チェロのヨーヨー・マからジャズ・ヴァイオリニストの大家ステファン・グラッペリ、ギターのアサド兄弟、東儀秀樹、葉加瀬太郎、高嶋ちさ子、ベルリンフィル・メンバーまで…各ジャンルのトップ・オブ・トップと共演を重ねてきた古澤巖。満席を記録した前回の横浜みなとみらいホール公演終了後に寄せられた多くのアンコールの声に応え、2020年にも同ホールでのソロ・リサイタルが決定いたしました!

クラシックにこだわらず、あるいは音楽にこだわらず、ありとあらゆるものを取り入れ、テレビやラジオといった各メディアに出演を重ね発信を続ける彼はまさに「音楽の求道者」。横浜の午後に楽しむ貴重なソロ・リサイタル、前回お越しいただいた方もそうでない方も、お聴き逃しなく!

古澤 巖 (ヴァイオリン) Iwao Furusawa (Violin)

フィラデルフィア、チューリッヒ、ロンドン、南仏、ザルツブルク等でミルシテイン、ヴェーグ、ギトリス、バーンスタイン、チェリビダッケ等に学ぶ。1986年葉加瀬太郎とバンドを結成、新しいステージ創りを始め現在に至る。2020年5月最新アルバムはベルリンフィル・メンバー、品川カルテットを含む「Violon d'amour」(HATS) リリース予定。この秋より新しい6人組「Six unlimited」ツアーが始まる。

COCO FARM WINERY 取締役、洗足学園音楽大学客員教授。葉加瀬太郎、高嶋ちさ子との「三大ヴァイオリニスト」の三人目。

宗次コレクションより最高のストラディバリウス「サン・ロレンツォ 1718」を生涯貸与されている。

金益研二 (ピアノ) Kenji Kanemasu (Piano)



作編曲家・ピアニスト。東京都出身。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。06年にはブエノスアイレスにてホルヘ・ドラゴネ氏にタンゴピアノを師事。08年より世界の音楽とオリジナル楽曲を織りまぜた独自のスタイルでソロライブ「音の散歩」シリーズを展開。ヴァイオリニスト古澤巖のCD「愛しみのフーガ」(2017)に「ブエノスアイレスのワルツ」が収録される他、様々なアーティストへ楽曲・アレンジを提供。ヤマハミュージックメディアより「JAZZアレンジで弾くスタジオジブリ」など、主にポピュラーピアノの編曲譜面を多数出版。

ピアニストとしては自身のライブの他に、尺八奏者・渡辺淳氏とのユニット「ウミガメ」や、アルゼンチンタンゴバンド、ミュージカルのオーケストラでの演奏、多岐に渡るジャンルのアーティストのサポートなど、幅広く活躍中。趣味はジョギング。

ホームページ <http://www.kanemasukenji.com/>

Program

マドリガル (アキール・シモネッティ)

ショーロ・インディオ (佐藤允彦)

踊る人形 (ボルディーニ)

愛の悲しみ (クライスラー)

美しきロスマリン (クライスラー)

ヴォカリーズ (ラフマニノフ)

ブエノスアイレスのワルツ (金益研二)

アヴェ・マリア (ピアソラ)

カンタービレ (パガニーニ)

ニュー・シネマ・パラダイス (モリコーネ)

ほか